

幸福構築コンサル

作・こさへあきひろ

【登場人物】

マサル …………… サラリーマン。
ナルミ …………… マサルの妻。
ユキ …………… マサルの子供。
ジュン …………… マサルの友人。
レイ …………… ジュンの妻。
シンペイ …………… 独り身。
サキ …………… 孤高の女。
タダオ …………… 年金暮らし。
ノリオ …………… タダオの孫。
マスター …………… マスター。
歌手 …………… シンガロイド。
亀岡 …………… セールスマン。

1

インターホンの音がきこえる。

舞台が明けると、セールスマンらしき男・亀岡が立っている。

ほどなくして服装の乱れた男・マサルが面倒くさそうだが足早にやってくる。

ドアをあける。

マサル はいはい。

亀岡 どうもどうもどうも、わたくし、ワールドワイドスマイルの亀岡亀岡です。

マサル はい？

亀岡 亀岡亀岡です。

マサル あの、間に合っていますから。

亀岡 ご主人、あなたは間に合っていない！ わかります、わかりますとも。

マサル 今ちよつと取り込んで。

亀岡 43秒、43秒です。

マサル はあ？

亀岡 わたくし亀岡亀岡の話をきいてください。43秒です。

マサル 43秒？ わかったよ。はいはじめ。

亀岡 あなたは今とても幸せです。この上ないほど幸せです。美しい奥さんと、かわいい子供がいて、仕事は全てうまくいって、お金もあつて、100パーセント幸せです。そうですね？

マサル そんな人間なかないでしょうね。

亀岡 という、あなたは幸せではない？

マサル どうでしょうね。

亀岡 それです！ それですそれです！ 「どうでしょうね。」それなんです！ 自信をもって自分のことを幸せだと言えない、それなんです！ まさしくそれ！ そうなんです、そうなんですとも！ ですがご安心ください！ わたくしたちにお任せください！

マサル あんたあれか、宗教の勧誘か。

亀岡 宗教？ ノー！ 断じてそんなものではございません！
宗教などではなく、わたくしたちは、洞察と分析によって、幸せ
を売っているのです！

マサル あの、もう43秒たったんじゃないかな。

亀岡 あと10秒です、あと10秒、あと10秒話します！

血を流した女、ナルミがやってくる。

ナルミ (亀岡のことに關してマサルに) なに？

マサル わかんないんだけど、なんか勧誘だよ。

亀岡 勧誘ではありません！ 幸せを売っているのです！

ナルミ うちには間に合ってますから。

亀岡 間に合っていない！ 頭から血を流している人が、幸せが足
りているはずがない！

マサル あの、今夫婦ゲンカの真つ最中なんで、どうぞまた日を改
めて。

亀岡 ほらほらほーら！ わたくしの勘は当たるでんす！ 今ま
さに、幸せじゃない、あなたたち！ そういう臭いがしたんです

この家から！ ふわぁんと！

マサル 帰ってくれませんか、この女みたいに血を流すことにな
りますよ。

ナルミ 爪がざくつと入ったからね。

亀岡 私は、夫婦ゲンカを解決できる！ このチャンス、このチャ
ンスを逃すのですか？

マサル ほーう、高い壺でも売りつけるってか？

亀岡 ノー！ そんな非科学的なものではありません！ 買わな

くてもいい、見るだけでいい、見るだけでいいのです！
ナルミ じゃ見るだけ見るわよ。早く出して。

マサル おい。

ナルミ いいじゃない、見せるだけ見せてもらって帰ってもら
わよ。

亀岡 ナイス決断です奥さん！ これです！ これをみてくださ
い！

亀岡、カバンから、ぼろいぬいぐるみを取り出す。

マサルとナルミ、なんといいかわからない雰囲気。

マサル ええと……これは？

亀岡 みーちゃんです。

マサル あ、うーん……(頭が痛い)

亀岡 かわいいでしょう？

ナルミ せめてもうちよつとちゃんとしたものを。

亀岡 ちゃんとしている！ これは、研究によってデザインされ

た、素晴らしい商品です！

マサル やっぱり時間のムダだった、帰ってくれ。

亀岡 持つてみなさい！ そして、よく見てみなさい！

マサル もういい、限界だ。

亀岡 これでダメなら、帰ります、即座に、帰ります！ (渡す)

マサル (いやいや受け取って) 本当に帰れよ、

マサル、いざ手に持つてみると、ジワジワとその感触がいいものに思えて
くる。

ナルミ なに？

マサル いや、なんだろう……、

マサル、ぬいぐるみをいろんな角度から見てみる。そうしていると、ぬいぐるみと目が合う。

マサル (力が抜けるように照れる) あっ……、

ナルミ え、なに、私も。(ぬいぐるみを持つ、とジワジワとその感触が
いいものに思えてくる) え、あ、なんか、うん。

ナルミも、ぬいぐるみをいろんな角度から見ている。そうしていると、ぬいぐるみと目が合う。

ナルミ (照れる) あっ……、

亀岡 いかがです？

マサル なんだろう、なんか……なあ？

ナルミ うん、なんか、わかんないけど、……いい。

亀岡 (ぬいぐるみを手にとって、声をあてる)「はじめまして、あたし、
みーちゃん。」

ナルミ あっ、(謎の快感)

マサル なんだよそれ、ちよ、ちよつと貸してみる。(ぬいぐるみを手
にとって、声をあてる)「あたし、みーちゃん。」

ナルミ あっ、(謎の快感)

マサル (ぬいぐるみを自分にむけて会話する)「あたしみーちゃん、
あなたの名前は？」マサルだよ。「マサル、いい名前だね。」え

へへ、そうかなあ。

ナルミ わたしも！ わたしも！

マサル 今俺がやってるじゃないか！ 「そうだよ、あたしはマサルとおしゃべりしてるんだよ。」

ナルミ いじわる！ みーちゃんは優しいからわたしともおしゃべりしてくれるもん！

マサル 「うーん、仕方ないなあ、あなたともおしゃべりしてあげるわ。いいかな、マサル？」うーん、まあ、仕方ないなあ。

ナルミ やさしい！ (ぬいぐるみを持つ)ねえ、みーちゃん。「なあに？」かか、かわいい……！「あなたの名前は？」ナルミだよお。

あ、私もみーちゃん、おなじ！「わあ、とっても嬉しいわあ。」マサル 待って待って騙されるな、

ナルミ なに？

マサル どんなインチキなのか知らんが、俺は買わないぞ！ 騙されるな、こんなボロいぬいぐるみ……いや、みーちゃんが、かわいいはずがない、いくらだ、買わんぞ俺は、買わないが一応値段

はきいといてやる。言え！ このみーちゃんはいくらなんだ！

亀岡 70円です。

マサル、腰を抜かす。

マサル は、は、はう、はう、

ナルミ そんなに安いんですか。

亀岡 本来の価格価格は7000円ですが、初めてのお客様には商品3点まで99パーセントオフで提供しております。

マサル ふざけるなあ！ みーちゃんが70円、きさまあ！ み

ーちゃんがかわいそうだと思わんのか！ (ナルミに) なにぼさ
つとしてる、財布もってこい財布。

ナルミ はいっ。(去る)

マサル いいいくらと言った？

亀岡 70円です。

マサル 違う割引前の値段だ。

亀岡 割引価格でいいんですよ。

マサル バカかお前は！ どの世界にこんなかわいい、70
円？ バカ、こんな、バチがあたるぞ！

ナルミが戻ってくる。

ナルミ はい。(財布を渡す)

マサル (奪い取るように受け取って) いくらと言った、7000円
か、バカ、7000円だと、いい、1万だ、受け取れ。

亀岡 ありがとうございます。では3000円の、
マサル バカ！ 誰がツリなんかほしいと言った！ 俺がほし
いのはみーちゃんだ。そんな、3000円なんかいらん！ やる！

亀岡 いえいえそんな、

マサル いいんだ、それより、もうみーちゃんは、もう、俺のもの
ということでもいいんだな。

亀岡 ええもちろん。

マサル (ぬいぐるみをもって) みーちゃあん、今日から僕がみーち
ゃんのお父さんでちゅよお。

ナルミ え、ずるいあたしも。

マサル バカ、俺が買ったんだ、ねえみーちゃん。「うん、そう

だよ。」……ちよつと持ってる。(ナルミにもたせる。財布から更に1
万とりだして) やる、なんだか安すぎて落ち着かん。

亀岡 ですが、

マサル やると言ったらやるんだ！ (渡す) ったく、お前はもの
の価値がわかってない。(ぬいぐるみを奪って) ねえ、みーちゃ
ん？

ナルミ ずるいー、(亀岡に) ねえ、みーちゃんまだないの？

亀岡 ございますよ。

ナルミ え、じゃあ私も、

亀岡 ございますが、わたくしのこの長年培ってきた勘からする
と、奥様にはもつとびつたりのものがございますよ。

ナルミ え、なにに？

亀岡 こちらです。

材木を、雑に削ったであろうものが出てくる。

ナルミ、圧倒的にいらぬものが出てきた気がするが、もしかするとさっ
きと同じように実はいいものかもしれない、と迷いつつ、

ナルミ ……これは……？

亀岡 材木を削ったやつですね。

ナルミ いや……でも……さすがに……、

亀岡 研究を重ねて作られたものですよ、どうぞ持ってみてくだ
さい。

ナルミ これはちよつとなあ……(持つ) あつ、(確かめるように、い
ろんなところを触ってみる) ああー(もんでみる) おつ、おつ！ (喜
びを亀岡に訴えかけるように) おお！ これ、おお！

マサル 貸してみる。(みーちゃんを渡して材木を持つ) おお……ああ
——……おお！ おおお！ おお！

ナルミ いくら？

亀岡 6円です。

ナルミ、腰を抜かす。

マサル お前、商品の値段じゃないぞそれは！

亀岡 いえ、620円の99パーセントオフです。

マサル だとしてもだ！ 620円？ 620円ってそんなすごい金だったのか！

亀岡 材木ですよ。

マサル 材木じゃないだろ！ 材木を超えた……材木だろ！

亀岡 買うんですか？

マサル 当たり前だろ。(二万円札を出す) もってけ。

亀岡 ええとでは、9994……

マサル 何回言わせるんだ、もってけ！

亀岡 ありがとうございます！

子供のユキがやってくる。

ユキ うるさいよお父さん、

ナルミ あら、起きたのユキ、

マサル ほら、見てみるユキ、みーちゃんだぞ、それにほら、材木
を超えた材木だ。

ユキ なにそれ。

マサル なにそれって思うだろ！ でも触ってみろ！ びっくり
するぞ！

亀岡 お子さんでいらっしやいますか？

ナルミ ええ、ユキよ。

亀岡 それでしたら、お子さんにはもつとびつたりのものがござ
いますよ。

マサル なんだ、見せてみる。

大きな紙が出てくる。

開くと、黒い線で4マスに分割され、それぞれのマスに「犬」「犬」「犬」
と書いてあり、残りの1マスにネコの絵と「ニャー」という文字が描いて
ある。

マサル これは……？

亀岡 犬ですね。

ナルミ (ネコのイラストを指して) これは？

亀岡 ネコですね。(「ニャー」の文字を指して) 「ニャー」。

ユキ (その謎の紙を見ながら震えて) ほしい……。

亀岡 5円です。99パーセントオフで。

マサル 何度言わせるんだ貴様あ！ ほら、もってけ！ (二万円を
渡す)

亀岡 ありがとうございます！

家族3人、それぞれ、みーちゃん、材木、謎の紙をみたり触ったりしなが
ら、幸福感に満たされつつ、

三人 (うっとり) ああ……。

2

ナルミの友人・レイの家。

ナルミがレイになにか力説している。

ナルミ つまりね、お金っていうのは、正しく使えば幸せを手に入
れられるツールになるわけなのよ。

レイ わかった、きいたよそれは。

ナルミ わかってないよ！

レイ わかったって。

ナルミ わかったらもつとなんかあるじゃない。「そうだったのか
あ！」とか「うわあ！ 目から鱗だああ！」とか。

ジュンが現れて、お茶を出しながら。

ジュン 横田さんは幸せなんですな。

ナルミ そうなんです。どうしてもつと早く亀岡さんと出会えな
かったんだらうと思いますよ。

ジュン その、さつきから言ってる亀岡さんって人、教祖様かなに
かですか？

ナルミ だから宗教じゃないんですよ！ セールスマン、健全な
ビジネスですよ。

レイ ナルミ、服の趣味変わった？

ナルミ (目をキラキラさせて) 気づいた？ そうなんだよ。

レイ きかなきやよかった……。

ナルミ 私さ、服に無頓着だったじゃん？

レイ (小声でぼそっと) 知らないよ……。

ナルミ 無頓着だったのよ。(レイは小声でなんとなく相槌をうってい
るが、ナルミは気にせず喋り続ける) これね、亀岡さんが選んでくれ
たの。するとあら不思議。なんか、しつくりくる。私のために作
られた服なんじゃないってくらい、フィット。ベスト・フィット。
そしてこういう小さなことの積み重ね、それが積み重なって、大
きな幸せになっていく。夫婦生活も円満。毎日が、もう、ハッピ
ー。そうだ、カタログみせようか、レイも気に入るものあると思
うよ。

レイ あー、うーん。まあ、なんていうかさ、それってあれだよ。

ナルミ なに？

レイ まあ、言葉は悪いけど、マルチ……、

ナルミ 違う！

レイ だってそうじゃん……

ナルミ 断じて違う！ 証拠だってある！

レイ なに？

ナルミ 私は、レイが商品を買っても1円ももらえない！

レイ え、じゃあなに、なんも得しないの？

ナルミ ひとつも得しない！

ジュン じゃあなんでそんなにオススメしてくるんですか？

ナルミ だって悪いじゃないですが。私だけ幸せになって、その秘
密を黙ってるなんて。私はね、私たちのような大した高給取りじ
やないようなサラリーマンの妻でも、ちゃんと幸せになれるっ

てことを、知ってほしいのよ。

レイ いいよ怖いよ。

ナルミ (カタログの商品をさして) あ、これいいんじゃない、黄金の修正ペン。

レイ いらないよ！ いいのよ修正ペンは白い安いやつで。よく修正ペンと黄金を組み合わせようと思ったね。

インターホンの音。

ジュン はいはい。(通話している) え？ はあ。……ええ。はあ。

ナルミ、インターホンの画面を見ていて、勝手に通話してしまう。

ナルミ どうぞどうぞ、ドア開いてるんであがってきてください。

もう玄関も、はい、リビングまでどうぞ。

レイ なになになに？

ナルミ 亀岡さんだよ。

レイ ええ！ やだよ帰ってもらってよ。

ナルミ いいのよ大丈夫、話聞いただけでもいいから。

亀岡が入ってくる。

亀岡 どうもどうもどうも、亀岡亀岡でございます。

ナルミ お世話になってます。

亀岡 あ、これはこれはナルミさん。どうもどうも。お洋服の着心地はいかがですか？

ナルミ 最高ですよ。私のために作られたんじゃないかってらしい。

亀岡 それはそれは、ええ、ええ、ええ。

レイ あの、すみません、間に合ってるんで私たち。

亀岡 間に合ってます！ 間に合ってるはずがないんです！

私の嗅覚は確かですよ。玄関の前を通って、ふわぁんと、あ、この家はなんとかしなければと、ピンときたんですよ。

レイ でも私たち、幸せですから。

亀岡 奥さん！ あなた、旦那さんに何か隠し事をしていませんか？

レイ え、私が？

ジュン なんだ？

レイ 私、隠し事なんて。

亀岡、くんくんと臭いをかぐ。レイの肌のおいを隅々までかぐ。

亀岡 2丁目にある、エステティック・ナカムラ、

レイ え、ちよつと、え？

ジュン なんだそれ？

亀岡 2か月前から通ってらっしゃいますね？

ジュン そうなのか？

レイ ウソよ！

亀岡 奥さんの財布をみてごらん下さい！ メンバーズカードが入っているはずですよ！

ジュン、行こうとする。

レイ、しがみついてとめる。

レイ 待って！ ちょっと待って！

ジュン なんでだ！ ウソなんだから！

レイ ウソだけど待って！

ジュン ウソならいいじゃないか！

レイ ううう……だつてえ……オススメしてくるからあ……私に

はキレイになる素質があるっていうからあ……、

ジュン 行ってるのかやっぱり、

レイ だって最初の一回は無料だつていうから、そりや行くじや

ない。そしたら、すごい、キレイになった気がするってなつて、

そしたら、多少お金払つても、もっとキレイになりたいって思う

じやない。それが女つてもんじやない。

ジュン いくらだ？

レイ ……。

ジュン いくら払つたんだ。

レイ (何か言っているが、小さすぎてききとれない)

ジュン なに？

レイ ……えん。(やはり小さすぎてききとれない)

ジュン はつきり言え。

レイ 21万6000円。

ジュン に、に、

レイ プラス消費税。12回分割払い。

ジュン お、おまえ、最近電気代とかガス代があつたとか言つて

俺の小遣い減らしたのはそれか！

レイ だって、店員さんすぐ褒めてくれるからあ。私だつてキレイ

イになりたいからあ。

ジュン なんで隠したんだ！ 俺のこと騙して！

レイ だつて怒るじやない！

ジュン そりや怒るよ！

レイ ほら！

亀岡 どうです、これで幸せと言えるのでしょうか。

レイ あなたのせいじやないですか。

ジュン 怪しくなつてきたな。

亀岡 奥さん、あなたはエステに行きました。それはなんのため

でしょうか。

レイ え、まあキレイになりたいし。

亀岡 そうです。キレイになりたい！ そうなんです！ 女性は

誰しもキレイになりたい！ ええそうですとも！ しかし奥さ

ん、キレイになるためにそんなにお金をかける必要はないので

す。(何か取り出す) こちらのクリームを塗つてみてください。

レイ え、え、なんか臭いですよ。

亀岡 塗りますね。(レイの腕に塗る)

レイ え、やめてください、くさいですよこれ。

亀岡 これでよし、触つてみてください。

レイ ええ……？ (腕に触つてみる) え、え？ (なんども触つたり、

つかんだりする) なにこれ、なんか、引き締まつてる。なんか、ハ

リが、

ジュン まさか。(レイの腕を触つたりつかんだり) お？ なんだこ

れ？ おお、おお！

レイ それに、(においをかぐ) あれ、臭いも消えてる。

亀岡 いかがでしょうこちらのクリーム、お値段32円です。

レイ (腰をぬかす) さ、ささ、
ジュン バカな、どうなってるんだ！

亀岡 定価3200円ですが、初めてのお客様は99パーセント
引きです。

レイ ください、あるだけ買います！

亀岡 すみません、3個までなんです。

レイ じゃ、じゃあひとまず3個。ジュン、お金、

ジュン あ、ああ、

ナルミ いえいえここは私が払いますよ、

ジュン え？

レイ そんな、

ナルミ 私の言うこと信じたでしょ。それでいいのよ。それでもう

私は幸せなのよ。いくら？

亀岡 96円です。

ナルミ (100円を渡す) お釣りはとつといて。

亀岡 ありがとうございます。(クリームの箱を3つ渡す)

レイ ひやあ、す、すごい、

亀岡 あなたたちの幸せ、わたくしにお任せください。わたくし、

株式会社ワールドワイドスマイルの亀岡亀岡です。(名刺を渡す)

レイ ありがとうございます！

ジュン あの、私にも何か幸せを……！！

亀岡 見たところ、あなたはアウトドア派ですね。

ジュン よくわかりましたね……！！

亀岡 今度、我が社であなた様ぴったりの企画があるのですが。

ジュン 企画……？

3

山登りに行きそうな格好をしている人々。

シンペイ、サキ、タダオ、ノリオがいる。

ただ、山登りに行くには、やや軽装という感じである。

タダオ いやあ、いつ以来だろうなあ山登りなんて。

ノリオ そうだねえ。

タダオ 若いころはけっこう登ったもんだが、

シンペイ あの、

タダオ ええ？

シンペイ 山登りにはよく行かれていたんですか。

タダオ ええ、若いころね。

シンペイ あの、やはり、これくらい軽装なものなんですか。

タダオ いやいや、本当はもうちよつとちゃんとした服装でしょ

うね。

シンペイ 大丈夫なんですか。

タダオ 大丈夫ですよ。亀岡さんがわざわざ服装と荷物を指定し

てくださったんですよ。なにか、私たちを幸せにするのに必要な

ことなんですよきつと。

亀岡が現れる。

亀岡 どうもどうもみなさん、亀岡亀岡です。みなさんお揃

いででしょうか。

い

シンペイ いまーす。

亀岡 あれ、あれあれ、足りませんねえ。マサルさーん？ ジュン
さーん？

マサルとナルミ、ユキが現れる。

マサル すみません、子供がぐずっちゃいまして。

亀岡 あーよかったよかった、えーとジュンさんたちは。

ジュン、レイが現れる。

ジュン すみません、こいつが化粧に手間取りまして。

レイ どうもみなさん。私の肌触ってみます？ 引き締まってピ
チピチなんですよ。いかがです？

タダオ あ、では……。

ノリオ ちよつとおじいちゃん……。

タダオ ああすまない、触ってほしいというから。

ノリオ すみません。

レイ いえいえ、触ってほしいんです。自慢したいんです。(シンペ
イに) いかがです？

シンペイ いえ、僕は……。

亀岡 さてさて、それでは向かいましょう！ しゅっぱーつ！

みんなぴよんとジャンプ。

そこは山の中腹あたりか。

シンペイ はあ、はあ、あはまだ歩くんですか。

亀岡 ええ、ええ、その、あれあれ、ええとここは、
マサル 亀岡さん？

亀岡 ええ、ええ、大丈夫です！ 大丈夫ですとも！

ナルミ (マサルに) なんか変じゃない？

マサル あ、ああ、

雨が降ってくる。

タダオ あれ、

ノリオ 雨だ、

シンペイ 亀岡さん、今日は一日中快晴って……、

亀岡 ええ、ええ、大丈夫です！ 大丈夫ですとも！ ノープロブ
レム！ ええと、ここが、ええと、あ、あ、あそこに小屋があり
ます！ ほら、あるんですよ！ 大丈夫です！ ええ、さ

さ、どうぞどうぞあの山小屋へ！ はい！

みんなぴよんとジャンプ。

そこは山小屋。

亀岡はいない。

座ってる人がいたり、立ってる人がいたり。なんだか落ち着かない。

雨の音だけが響いている。

沈黙。

シンペイ ……あの、大丈夫、なんですよね？

レイ 大丈夫ですよ。

シンペイ 遅くないですか、亀岡さん。

ジュン でも、この山小屋で待ってれば大丈夫だって言っていました。

ユキ ねえ、これってさあ、遭難？

沈黙。

ナルミ 違うのよユキ。遭難っていうのは、道に迷ったりなんかして、もしかしたら死ぬかもしれない、みたいなことを言うのよ。ユキ じゃあ遭難じゃん。

沈黙。

シンペイ え、これ遭難なんですか？
タダオ そうなんです。なんちゃって。

沈黙。

ノリオ、タダオをたたく。

タダオ すみません。

シンペイ え、嘘だ！ だって楽しいレジャーのはずでしょう？
僕たちの人生を幸せにする、レジャーなんでしょう！ おかしいじゃないですか！ 僕たちは亀岡さんを信じてついてきたんですよ！ 亀岡さんが大丈夫だって言うから、信じてついてきたのに！ これじゃ裏切りですよ！ どうするんです！ この

まま餓死して死ぬんですか！ 嫌だあ！ 僕はそんなの嫌だ

あ！

サキ うるさいのいちいち！

沈黙。

サキ なんなのよギャーギャーギャー！ 焦ってるのはみんな一緒でしょ！ 大きな声ださないでよ！ あんたみたいなのが集団の和を乱すのよ！ 山奥の別荘で殺人事件が起こったときに「俺は部屋に戻る」とか言って犯人に殺されるのよ！ 不愉快不愉快不愉快不愉快！ なんなのよあんた、さっきからエロい目で私のことジロジロ見て！

シンペイ 見てないですよ……。

サキ 見てたわよ！ ずっと！ おっぱいとか太ももとか！ いやらしい！ 本当はこの女の腕だつて触りたかつたんでしょ！ スケベ！ 変態！ ちよつと、近寄らないでよ！

シンペイ 一ミリも近づいてなかったよ……。
サキ 近づきたいなと思つてたでしょ！ でもどうせ近づきたくても近づけてないのよ！ むつつりだから！ むつつりスケベ！

シンペイ 喋り出したと思つたらなんなんですかあんたは！

タダオ まあまあ、

サキ 入ってくんなよエロジジイ！ その女の腕触つてよだれ垂らしてくせに！

タダオ よ、よだれなんて、

サキ (レイに) あんたもあんたよ、男に媚び売つて！ あんたみ

たいなのがいるから世界の女性全体の価値がさがるのよ！淫
乱！売女！

レイ はあー？女性の価値さげてるのはあんただと思うんです
けど。被害妄想女！

サキ 妄想じゃないですし！真実ですし！もうやだ、こんな
やつらと同じ屋根の下なんてもういやだ、どいつもこいつも！
この愚民どもが！やだやだ！あーやだやだやだやだ！け
がれる！けがれるけがれるけがれるう！

とかいいながら眠る姿勢に入り、そのまま、寝る。

沈黙。

ノリオ ……え？

ナルミ 寝た……？

沈黙。

サキのイビキだけがきこえる。

タダオ まあ、お疲れだったんでしよう、ひとまず静かになって、
ね、

ナルミ あ、ユキも眠ってる。

ユキ、眠っている。

マサル 疲れたんだろう。

タダオ あれ、ノリオ、ノリオ？

ノリオも眠っている。

タダオ ノリオもだ。

シンペイ でも、こういうのって寝たら死ぬとかいいませんか？

沈黙。

ナルミ ユキ！ユキ！起きなさい！ユキ！

タダオ 大丈夫ですよ。そんなに寒くもないし。死にはしませんよ。
ナルミ そうですか、じゃあ、ちよつと私も。(眠る)

シンペイとタダオ以外、眠ってしまったっている。

シンペイ みんな寝ちゃったなあ。

タダオ あなたは眠くないんですか。

シンペイ いや、かなり眠いですね。

タダオ 私はいっこうに眠くならないんですが。

シンペイ お元気なんですね。

タダオ いえ、あ……、

シンペイ なんです？

タダオ あの、みなさん、おにぎり、あと、お茶、飲んでいまし
たよね。

シンペイ ああ、亀岡さんがくれたやつですか、ええ。

タダオ あの、私、おにぎりは食べたんです。

シンペイ ええ。

タダオ ただ、あの麦茶、私、麦茶が嫌いなもんですからあ、シンペイ そんな日本人いますか、

タダオ いるんですここに。もしかして、あのお茶に、

シンペイ え？

タダオ あなた、寝たらマズイかもしれませんが。あのお茶になにか、シンペイ そ、そう言われましても、あの、もうかなり……、

タダオ あなた！ 寝たらダメです！ 寝たら死にますよ！

シンペイ あなたさっき死なないって……、

タダオ ダメです！ 寝ないでください！ あなた！（シンペイを揺する）

シンペイ、眠ってしまったている。

タダオ なんだ、どうなっている。マズイぞ、どうにか助けを……。

亀岡が現れる。

亀岡 どうもどうもどうも、タダオさん。

タダオ 亀岡さん。

亀岡 まだ眠くはならないのですね。

タダオ 私はお茶を飲んでいない。

亀岡 ええ、ええ、ええそうですか。ええ、ええ、では、ええ、仕方ありません。

タダオ なんです、

と言い切る前にさっとタダオに近づき、タダオの口に布をあてる。

タダオ、少しして気絶してしまう。

暗くなる。

チュンチュン、と雀の声。

亀岡の声 さあみなさん起きてください！ 起きてください！

マサルの声 あれ、山小屋にいたんじゃない。

ユキの声 なんで車の中にいるの？

亀岡の声 ほらほらみなさん、見逃しますよ。

早朝。

みんな寝ぼけながらぶつぶつと色々喋りながらやってくる。

亀岡 はい、ご覧ください。

見事な日の出。

ナルミ わあ、

サキ キレイな日の出だわ……。

亀岡 それではみなさん深呼吸！

みんな、深呼吸してみる。

そして、日の出に見とれている。

亀岡 いかがでしょう、わが社のサプライズ！

シンペイ サプライズ？

亀岡 一時遭難しかけたと見せかけて、気づけば見事な日の出！
タダオ あ、じゃあ……、

亀岡 すべてプラン通りでございます！

ジュン さすが亀岡さん！

亀岡 今までこんなに美しい日の出を見たことがございますか。
遭難という出来事があったからこそ、よりいっそう、日の出が美しいのです！ あちらに、おにぎりとおうじ茶がございます。朝日を拝みながらのお食事はまた格別でございます。わが社の研究されつくされたプラン、ご満足いただけましたか。

みな、深々と、お辞儀。

そして「ありがとうございます」などお礼の言葉。

亀岡 それではあちらにどうぞ。日の出を堪能したあとは、散策したのち、お昼のバーベキューです。厳選された素材をご用意しております……、

などと話している間にも、みんな満足そうに周りの人とガヤガヤおしゃべりをしながら、おにぎりとコーヒーの用意されているであろう方向へ去っていく。

4

人型のロボットがいる。

そこに、亀岡とユキがやってくる。

ユキ ねえおじさん、どうして僕にはあの映画をみさせようとしなかったの？

亀岡 分析ですとも、ええ、分析なのです。あなたは冷めているから、あの手の純愛ラブストーリーには、興味がない！ ナッシングなのです！

ユキ しょせん絵空事だからね。パパとママはああいう子供騙しの映画が大好きみたいだけど。

亀岡 ですから、パパとママにはあの映画をみてもらって、そのあいだにあなた様には別の娯楽をご提供するのです。ええそうです、ユキ様にぴったりの娯楽ですとも！ これをご覧ください！

そこには、人型のロボット。

ユキ さつきから気になってたけど、なにこれ？

亀岡 最新のAIを搭載した、シンガーソングロボット、その名もシンガロイドです！

ユキ へー、しよばい子供騙しじゃないだろうねえ？

亀岡 とんでもない！ ノット子供騙し！ まるで本当の人間のようによくコミュニケーションがとれる、最新のロボットなのですよ！ 肌も人間の肌の材質に極限まで近づけ、みてください、目玉も、髪の毛も、まるでほんものの人間です！

ユキ じゃあ本物の人間でいいじゃん。

少し沈黙。

亀岡 ノー……！ ノー！ ノー！ 夢がない！ あなたには夢がない！

ユキ 夢ならあるよ。将来はユーチューバーになるんだ。

亀岡 まったく子供です！ 子供ですよあなたは！ 何もわかっていない！ 私はあなたの発想力を高く、それはもう高く、見積もりすぎていました！

ユキ なんだよ、どういう意味だよ。

亀岡 考えるのです！ 本物の人ではなく、ロボットである意味を！

ユキ なんだよロボットである意味って。

亀岡 よろしいですか、落ち着いて聞くのです、興奮してはいけません、落ち着くのです、早く落ち着きなさい！

ユキ 全然落ち着いてるよ、なんなんだよ？

亀岡 ロボットということはですよ、それはつまり、人間相手にやったら犯罪になってしまうようなことも、彼女相手なら犯罪にならないということなのですよ！

ユキ (ぶつ倒れる) はあ！ はう、はう……、

亀岡 わかりますか、これが、夢！ 人類の希望！

ユキ これが夢……僕は夢という言葉の意味をわかっていなかった……！

亀岡 さあ、あと1時間40分はパパもママも帰ってきません！

さあさあ体感するのです！ 人類の夢を！

ユキ 人類の……人類の夢……！ で、でもお金……。

亀岡 ノープロブレム！ このシンガロイドはまだ試作段階！

つまりユキ様にはモニターとして、無料で、この人類の夢を体感していただけるのです！

ユキ ああああありがとう……ありがとう亀岡さん……僕……亀岡さんのこと、ちよつと怪しい人だなとか思ってたけど、違ったよ、亀岡さんは人類の救世主だ。世界の希望だよ！

亀岡 それでは心置きなくお楽しみを！

ユキ ううううん……、

ユキ、おそろおそろシンガロイドに近づき、そして、二の腕をさわる。そして、揉む。

ユキ (離れて) はあああ、だめだ、僕は今、すぐいけないことをしている気がする……！

亀岡 ノー！ ファイト！ いけないことなんかひとつもありません！ だって人間ではないのです、ロボットなんですから！

ユキ で、でも、でも、

亀岡 勇気を持つのです、自分の欲望を叶える勇気を。

ユキ わかったよ亀岡さん、ありがとう、勇気を振り絞るよ……(シンガロイドに) おいお前、全裸になれ！

シンガロイド、脱ごうとする。

亀岡 ストップ！

ユキ ああああごめんなさいごめんなさいごめんなさいー！

亀岡 ナイス勇気です！ ナイス勇気！ しかし、だがしかし、それはまだ早い！

ユキ 僕は、僕はなんてことを！

亀岡 もっと難易度の低いところからいってみましょう！

ユキ だめだ、僕はもうだめだ……。

亀岡 ほらほら、まずはあいさつです。あいさつ。ねえ？

ユキ あ、こんにちは、ユキです。

シンガロイド こんにちは。私は、シンガロイドの、バイオレットです。

ユキ あ、あ、はじめまして。

シンガロイド 私の二の腕、触りますか？

ユキ え、え、ああ、え、あの、

シンガロイド どうぞ。

ユキ あ、え、じゃあ、

ユキがシンガロイドの二の腕を触ろうとすると、突然歌い出す。

シンガロイド ♪わたしの にのうでは

少し沈黙。

ユキ え、にのうでは……？

シンガロイド (突然入る) ♪ぷよぷよ

ユキ あ、あ、はい、そうなんですわね……。

シンガロイド (二の腕をさしだして) どうぞ。

ユキ あ、あ、じゃあ、

ユキがシンガロイドの二の腕を触ろうとすると、また突然歌い出す。

シンガロイド ♪よっつになると 消えるのは

少し沈黙。

シンガロイド ♪ぷよぷよ

ユキ あ、ですよね。

シンガロイド ♪わたしの 好きなゲームは

少し沈黙。

ユキ ぷよぷよ、

シンガロイド ♪ぱわぷろ

ユキ あ、ぷよぷよじゃないんだ……。

亀岡 なにか命令してみてください。

ユキ あ、じゃあ、右手あげて、

シンガロイド (右手をあげる)

ユキ 左手あげて、

シンガロイド (左手をあげる)

ユキ 右手下げないで、左手さげる、

シンガロイド (左手をさげる)

ユキは旗揚げの要領で、ひっかけたり、無理な要求をしたりする。シンガロイドは要求に答えるが、いよいよ無理な要求になったらユキの首をしめに行く。

ユキ ああごめんなさい調子に乗りました！ ごめんなさい！
シンガロイド 調子にのつてるとぶち殺すぞ。

ユキ はあ、

亀岡 そんなに怖がらなくても大丈夫ですとも！

シンガロイド ジョークジョーク、アハハ。

ユキ おしっこちびりそうになった……。

亀岡 なんでも命令していいのです！ 人間ではなくロボットなのですから！ 何を言っても、ノープロブレム！

ユキ ああああの、

シンガロイド はい。

ユキ ぼぼぼくと、き、き、キスしてください。

シンガロイド、早足で近づき、

ユキ ひ、すみません、

シンガロイド、ユキの頭をがとつかみ、

ユキ は、あ、ちびった……。

ユキの頬にキスをする。

ユキ、仰向けにぶっ倒れる。

亀岡 どうです、シンガロイドを体感←感想は！

ユキ もう、死んでもいいです……。

おしやれなバー。

シンペイと亀岡がやってくる。

亀岡 さあさあさあ座ってください。座るんですとにかく。緊張な
さらずに、さっとさっと。

シンペイ、座る。何やら落ち着かない様子。

シンペイ あの、ほんとに、大丈夫なんでしょうか。

亀岡 ああああなた、わわわたくしを疑っているのですか。

シンペイ いえそんな、しかしその、自分に自信がないというか、
そのこういのはとても緊張して、こ、こんなバーなんてところ
来たことないですし、あ、あの、本当に僕なんかでも、彼女がで
きるのでしょうか。

亀岡 この亀岡亀岡が、ああああなたを幸せにすると行って、でき
なかったことがありますか。ノー！ ありませんとも。ええあり
ません。

シンペイ そうですけど。

亀岡 わたくしどものプランは完璧、ええ完璧ですとも。シンペイ
さんの性格や好み、生活パターンを分析し、シンペイさんに、最
も、そう最もマッチする女性を紹介するのです。絶対に、絶対に
うまくいくのです。いいですか、このイヤホンをつけてわたくし
の指示をきくのです。そうすればまさに、まさに100パーセン

ト、彼女ができるのです。わかりましたね。

シンペイ ええ、はい。

亀岡 大丈夫です。リラックス、リラックスが重要です。深呼吸ですよ。そう、深呼吸、深呼吸ですよ。

シンペイ、深呼吸する。

その途中で、サキが現れる。

サキ お待たせしました。

シンペイ あ、どうも。(と言って、サキであることに気づく)

サキ あ。

シンペイ ああ。

サキ え、ちよつと亀岡さん。(亀岡を引っ張っていく) 私にマッチした相手って、あの人ですか。

亀岡 ええ、ええもちろんです。サキさんの性格や好み、生活パターンを分析し、サキさんに、最も、そう最もマッチする男性を選んだのです。絶対に、絶対にうまくいくのです。

サキ この前のキャンプで一回会いましたけど、どうも私、あの人
は……、

亀岡 わわわわたくしを、このわたくしを、疑うのですか。絶対にマッチするのです、サキさんがどう思っているかと、わたくしが、わたくしがマッチすると言っているのだから、マッチするのです。

サキ いえその、もちろん亀岡さんがそこまで言うなら、きつとそうなんでしょうけど。

亀岡 いいですか、このイヤホンをつけてわたくしの指示をきく

のです。そうすればまさに、まさに100パーセント、彼氏ができるのです。わかりましたね。

シンペイ ええ、はい……。

亀岡 大丈夫です。リラックス、リラックスが重要です。深呼吸ですよ。そう、深呼吸、深呼吸ですよ。さあ、どうぞ、お席にお戻りください。

サキ はい。(席に戻る)

亀岡 さて、シンペイさん、こちらサキさんです。

サキ どうも……。

亀岡 こちらシンペイさんです。

シンペイ どうも……。

亀岡 サキさん、シンペイさん、大丈夫です、ええ大丈夫ですとも。最高の、まさしく最高の時間を、過ごすことができます。間違いありません。それでは、ごゆつくり、どうぞごゆつくりしていただくさい！

亀岡は二人から離れたところに移動。

マスターが現れる。

シンペイ だ、誰だ……！

亀岡 (自分の服の裏についている小型マイクに) マスター、マスターですよ。

シンペイ (マスターに) あなたはマスターですね。

マスター、微笑む。

亀岡 そういう、そういう余計なことは言わなくていいのです。

シンペイ (小声で) すみません。

サキ あの？

シンペイ ああいえ、なんでもないんです。

亀岡 注文をしてください。

シンペイ (小声で) 注文……!!

亀岡 「僕にはいつものを。彼女には、アレを。」

シンペイ (小声で) な、なんですか、アレって。

亀岡 いいから言うのですよ!

シンペイ 僕にはいつものを。彼女には、アレを。

マスター、微笑んで作り始める。

サキ シンペイさんは、ここには、よく来るんですか。

シンペイ え？

亀岡 「ええ、何度か。」

シンペイ ええ、何度か。

サキ へえ、けっこう大人なんですわね、私こういうところ来ないから。

シンペイ え、ああ、ええ、まあね。

亀岡 「趣味」をきいてください。

シンペイ あの、ご趣味は。

サキ 趣味、ですか……？

亀岡 (別のところのマイクに) サキさん、「料理」と答えてください。

サキ 料理、ですかね。

シンペイ 料理、ああ、いいですね。得意料理は？

亀岡 「私、母に作ってもらった肉じゃがが大好きで、」

サキ 私、母に作ってもらった肉じゃがが大好きで、

亀岡 「その肉じゃがの作り方を母に教わって、」

サキ その肉じゃがの作り方を母に教わって、

亀岡 「とってもおいしいんです。」

サキ とってもおいしいんです。

亀岡 「よかったら今度、ウチに食べに来てください。」

サキ よかったら今度、ウチに食べに来てください。え？

シンペイ ウチに、ですか! あ、ぜひ!

サキ え? ああ、はい、ぜひ……。

亀岡 「タイプの男性は?」

シンペイ あの、サキさんの、タイプの男性は?

サキ え、タイプ……。

亀岡 「シンペイ、という名前の人がタイプです。」

サキ ちよつと、

シンペイ サキさん?

サキ いくらなんでも露骨すぎます!

シンペイ サキさん?

亀岡 あ、あ、あなたは、亀岡亀岡の、言う、言うことを、疑う

というのですか。いけません、断じていけません! 今までのあ

なたの幸せを、一体誰が、誰がコンサルティングしてきたと思っ

ているのです! 亀岡亀岡です! この、亀岡亀岡です!

サキ それは、そうですね……!

亀岡 それじゃあ、どうぞ好きに喋るといい! お好きに喋り

なさい! そした間違ったことを言い、価値のない、一切まった

く価値のない女だと思われなさい! そこです! そこなので

す! あなたはいざというときに人の話をきかない! ええき

きません！　そしてそのような女はモテません！　モテないどころか、ただ一人の、たった一人の男性からも愛されません、断じて愛されませんよ！　そのまま歳をお取りなさい。40にも50にもなっても一人で生きなさい。誰からも愛されずたった一人で！　わたくしももう、あなたのためになにもいたしません、わかりましたか！　わかりましたね！

サキ　す、すみません、私が間違っていました……。ど、どうか、もう一度チャンスをください……。

亀岡　次はありません、断じてありませんよ。それじゃあお答えなさい。「シンペイ、という名前の人がタイプです。」と。

シンペイ　サキさん……？

サキ　あの、私、シンペイ、という名前の人が、タイプ、かな？

シンペイ　え、そ、それって……、

サキ　まあ、その、なんとというか……、

亀岡　（近くに虫が飛んでいて）ちっ、なんだこの虫、邪魔だ、消えろ。

シンペイ　ちっ、なんだこの虫、邪魔だ、消えろ。

サキ　え？

亀岡　早く失せろ、殺してやる。

シンペイ　早く失せろ、殺してやる。

サキ　え？　え？

亀岡　（気づいて）あ、違います、これは言わないでください。

シンペイ　あ、違います、これは言わないでください。

亀岡　シンペイさん！

シンペイ　シンペイさん！

サキ　え、やだ怖い、なに？

亀岡　「つていうくらい、サキさんのこと、愛してるのかもしれないな。」

シンペイ　つていうくらい、サキさんのこと、愛してるのかもしれないな。

サキ　え、なにそれ、どういうこと？

亀岡　「まあ嬉しい、私もそのくらい愛してるかも。」

サキ　え、はい？

亀岡　幸せにならなくていいのですか！

サキ　まあ嬉しい、私もそのくらい愛してるかも。

亀岡　「そうか、嬉しいな、ま、ゆっくりお酒を飲もうよ。」

シンペイ　「そうか、嬉しいな、ま、ゆっくりお酒を飲もうよ。」

亀岡　「ええ、そうね。」

サキ　ええ、そうね。

マスターが酒を持ってくる。

マスター　「いつもの」と、「アレ」です。

亀岡　「ありがとうマスター。」

シンペイ　ありがとうマスター。

マスター、去っていく。

亀岡　シンペイさん、彼女に酒を勧めてください。

シンペイ　シンペイさん、彼女に酒を勧めてください。

亀岡　（舌打ち）サキさん、二人でお酒を飲んでください。

サキ　一緒に飲みましょう。乾杯。

シンペイ 乾杯。

サキ あ、おいしい。

シンペイ ほんとだ、おいしい。

亀岡 酔ったフリして、距離を縮めるのです。

サキ あ、なんか酔ってきたかも。(距離を縮める)

亀岡 「僕も少し酔ってきたかも。」

シンペイ 僕も少し酔ってきたかも。

亀岡 手を握ってください。

サキ (シンペイの手を握る)

シンペイ は、あ、あ、

亀岡 ここで一曲演奏が入ります。

サキ 演奏？

後ろの方に歌手がやってきている。

亀岡 我が社が自信を持って開発いたしました。シンガーソング
アンドロイド、シンガロイドです。

サキ シンガロイド……？

亀岡 彼女の発する声は、研究に基づき、聞く人の心に直接訴えか
ける周波数、声質に設定されています。曲を聞き終わった後に告
白をすれば、例えば相手のことが好きでなくとも、100パーセン
ト成功間違いなしなのです。

サキ すごい……！

歌手 それではきいてください。

歌手は2分くらい歌う。

歌を聞き終わり、うっとりしている二人。

サキ あの、このあと、シンペイさんのおうちに行っても？
シンペイ ええ、もちろん。

6

マサルの家。

マサルとナルミがケンカしている。

ユキは、それを冷静に見ている。

マサル もうガマンならん！ 離婚だ離婚！

ナルミ 望むところよ！ 慰謝料がっぽりとってやるわよ！

マサル それはこっちのセリフだ！ このクソビッチが！

亀岡がやってくる。

亀岡 どうもどうもどうも、亀岡亀岡です。

マサル ああ、亀岡さん。ってどっから入ってきたんです。

亀岡 不幸の空気を感じたらどこからでも出てきますよ。どうし
たのです。

ナルミ 不倫よ！ この男、職場の女に手えだして！

マサル お前だってヨガ教室のイケメンと！

ナルミ 不倫じゃないわよ！ 手取り足取り教えてもらってたの

よ！ いろんなことを！

ユキ まあまあ、とりあえずどっちが親権をもつのか話し合わな
いとさ。

亀岡 いけません！ わたくしが努力してあなた方の幸せをコン
サルして差し上げているのに、あなた方にはわたくしの努力が、
(涙ぐんで) わたくしの、努力が、伝わっていなかったのではし
うか……。

マサル ああ、それは、本当に申し訳なく思うのですが……、

ナルミ すみません、私たちが不甲斐ないばかりに……、

ユキ 許してやってよ。本人たちも反省してるからさ、

亀岡 ご安心ください！ わたくしが全て解決いたします！ わ
たくしたちは、ついに全人類が幸せになれる手段を開発したの
です！

マサル な、なんですって……！

ナルミ 私たちもまだ幸せになれるんでしょうか……。

亀岡 ええ。なぜ人間は不幸になってしまうのか、わたくしたちは
そのことについて真剣に考えました。わたくしたちは気づいた
のです！ 問題の根本的な部分を解決すること！ それこそが
わたくしたちの使命なのだ！

ナルミ なんです？

マサル 教えてください。

亀岡 人類の不幸の原因、それはつまりネガティブな感情です。怒
り、妬み、恨み、悲しみ、そういったネガティブな感情が、有史
以来、人類の不幸を生み出してきたのです。

ナルミ つまり。

亀岡 こちらのサプリを飲んでみてください。

マサル これを。

亀岡 ええ。人類史上最高の、人間の英知を極めた商品です。この
商品によって全人類の幸福が構築されるのです。これは無料お
試し品です。(三人にサプリを渡す) 水なしでそのまま飲めます。こ
れでネガティブな感情とはおさらばです。

三人とも、錠剤をのむ。

亀岡 いかがでしょう。すぐに効くはずですよ。

マサル いかげと言われても。

ナルミ でも……なんだかちよつといい気持ちね。

マサル ああ、言われてみれば。

ユキ (あくびをして) なんか眠くなってきたな。

マサル うむ……なんだかあまり怒る気にならなくなってきたな。

ナルミ そうね、私も……。

マサル まあ、考えてみれば、今回の件は、お互い様だしなあ……。

ナルミ そうね、なにも、怒らなくなつてね。

マサル うむ、結婚してれば、不倫のひとつやふたつ、よくある話
じゃないか。

ナルミ そうね。なに深刻になつてたのかしら。笑つてすませれば
いい話よね。

三人 あはははは。

亀岡 ほうら、わたくしのコンサルにこのサプリが加われば、全人
類がパーフェクトに幸福になりますよ。

マサル 亀岡さんは素晴らしい、まさに人類の救世主です。

ナルミ すごいわ。おめでとう亀岡さん。(拍手)

みんな あはははは。

ニュースキャスターのサキが話す。

サキ つづいてのニュースです。全人類に朗報です。株式会社ワールドワイドスマイルが人間のネガティブな感情を抑えるサプリメントの開発に成功しました。

別のところに亀岡。

亀岡 どうもどうもどうも、亀岡亀岡です。わたくしたちはこれを歴史上もっとも価値のある商品だと思っております。この商品は、すべての人類を！ すべての人類を幸せにし、世界に！ 世界に平和をもたらすことができますと、わたくしたちは確信しております。

さらに別のところにジュンとレイ。
インタビューを受けているらしい。

ジュン 前まで、小さなことで夫婦ゲンカとかしてたんですけど、今はもうながあつても腹が立たなくなりましたね。
レイ 笑って済ませればいいやつだね。あはは。

サキ 日本政府は株式会社ワールドワイドスマイルを全面的に支援すると表明し、モロキユウ総理大臣はすべての国民がこの商品を手に入れることができるよう、力を入れていきたいとコメ

ントしました。

数か月後のマサルの家。

マサルはマンガを読んでいる。

マサル あっはっはっは、あっはっはっは、
ナルミ 何読んでるの？

マサル 亀岡さんに教えてもらったマンガだよ。面白くて面白くて、

ナルミ そう。

マサル そうだ晩ご飯は？

ナルミ 晩ご飯？ ああ、もうそんな時間？

マサル そんなって、もう9時だぞ。

ナルミ 作るの忘れてたわ。

マサル あっはっは、まあいいか、死ぬわけでもあるまいし、

二人 あっはっはっは、

ナルミ そういえば、あなたはずっと家にいるわね？

マサル ん？ そうだな。

ナルミ 今日はお仕事おやすみなのか？

マサル あ、いけない、忘れてた。

ナルミ もーバカねー。

マサル あははは、ユキはどうした。

ナルミ ユキ？ あら？

マサル 一緒に公園に遊びにいったんじゃなかったか。

ナルミ いけない、おいてきちゃったわ。

マサル ははは、まあいつか帰ってくるだろう。

ナルミ そうね。赤ん坊じゃないんだから。あはは。

インターホンの音。

ナルミ はい。あら。警察？ はい、どうぞ入って、鍵開いてますから。

マサル 警察？

ナルミ そうなのよ、なんだかよくわからないけれど。

警察官・シンペイがやってくる。

シンペイ 失礼します。

ナルミ あら、もしかして前、登山ツアーで一緒でした？

シンペイ あ、これはこれは、あときはお世話になりました。

マサル どうぞごゆっくり、お茶を出してやれ。

ナルミ はいはい。

シンペイ お幸せそうですねえ。

マサル ええ、毎日あのサプリを飲んでますからね。

シンペイ 僕も飲んでるんですよ。こんな簡単に幸せになれるなんて、少し前までは信じられませんでしたよ。

マサル 本当、亀岡さんには感謝感謝ですよ。

シンペイ ここだけの話、そろそろあのサプリを飲むことが義務付けられる法案が提出されるようですよ。

マサル それはいいことだ。

シンペイ すべての国民からネガティブな感情がなくなれば、これはもう犯罪者が生まれえないということですからね。実は、既に

刑務所でも支給が開始されて、刑務所内の治安はかなりよくなったようですよ。

マサル 実に素晴らしい。そうになると、もう警察なんていらなくなるかもしれないですね。

シンペイ そしたら僕はクビですね。あっはっはっは、ナルミ どうぞ、お茶です。

シンペイ これはどうも。(お茶を飲む)

マサル とところで、今日はどのようなご用件で。

シンペイ ああそうだ、横田ユキくんのご両親でお間違いないありませんよね。

マサル ええそうですね。

ナルミ ユキがどうかしたんですか。

シンペイ ええその、ここから2キロ離れた路上で遺体が発見されましたね。

ナルミ イタイ？

マサル それはつまり死んでいたというわけですか。

シンペイ そうですね、そのご報告に。

※無料版はここまでです。ご覧くださりありがとうございます。全編はクラアク芸術堂の販売ページ(左のURL)から購入できます。ありがとうございます。

<http://www.clark-artcompany.com/public>

あとがき

この歳になって、筒井康隆氏の短編を読み始めた。日本でナンセンス文学といえばこの人、というような人だ。リアリズムから遠く離れたところに行きたかった僕は心惹かれた。その後すぐにGフランクケンという団体の結成にいたった。

話とか設定はかなり荒唐無稽であるが、そこに皮肉や批判がある。あるいは本当にただのバカな話の場合もあるけれど。その荒唐無稽なこと自体が、ナンセンスの楽しさだったりする。

現実ではいろんなことが起こっていて、あとから振り返ってみれば、重大な事件だったり、あのときが歴史の分かれ目だったなんて言われることも起こっているかもしれないけれど、現実はもつとぬるつとしていく。いつの間にか思っていた方向と違う方を向いていて、気づいたら思ってもいなかったところにたどりついてしまっていた。そういうものだ。手の込んだ詐欺や洗脳なんかもそうで、ある瞬間でさつと騙されるものではなく、もつとぬるつとじわじわと侵されていくものだ。

僕の今回の本はバカバカしくも冷たさやぬるさがあるなと思っ
ているけれど、上演にあたって井上君にこの本を託し、井上君が脚
色をするので、実際に上演されるものは、もしかすると全然違うも
のになっているかもしれない。その際は、どうぞこの脚本は「原作
本」としてお楽しみください。

2017年10月25日　こさべあきひろ

《上演記録》

Gフランケン第1回公演『幸福構築コンサル』

【キャスト】

マサル	棚田満 (劇団怪獣無法地帯)
ナルミ	山崎亜莉紗 (パインソー)
ユキ	中澤千智
ジュン	相澤奎
レイ	加納絵里香
シンペイ	がくと (劇団ロクデナシ)
サキ	檜山真理世 (クラアク芸術堂研修生)
タダオ	猪股五郎 (演劇集団「遊異坊」)
ノリオ	若月篤 (クラアク芸術堂)
マスター	こさべあきひろ (クラアク芸術堂)
歌手	宗前すみれ
亀岡	伊達昌俊 (Gフランケン/クラアク芸術堂)

【スタッフ】

演出・脚色 井上悠介 (きつとろんどん)

照明 山本ゆか

音響 小川しおり (劇団 fireworks)

衣装・小道具 佐藤智子 (クラアク芸術堂研修生)

映像 アラキヒロキ (minomushi_films)

宣伝美術 たねだもとき (クラアク芸術堂)

制作 大川有沙実

脚本・プロデューサー こさべあきひろ (クラアク芸術堂)

【日程】 2017年10月28日 (土) 20時

29日 (日) 11時半 / 15時 / 18時

【会場】 演劇専用小劇場 BLOCH

【料金】 (前売) 一般1700円 学生1200円 高校生以下500円
(当日) 300円増

※実際の上演内容と一部異なる場合があります。ご了承ください。

2017年10月25日 第1刷制作

《『幸福構築コンサル』の上演について》

「一般前売入場料2000円未満」または「公演予算100万円以下」の場合は、脚本使用料は**無料**です。それ以外の場合は、協議の上、総予算の3%程度を脚本使用料とします。上演のお問い合わせはクラアク芸術堂企画運営委員会まで。

【クラアク芸術堂企画運営委員会】

clark.artcompany@gmail.com

小佐部 明広 (こさべ あきひろ)

1990年、札幌生まれ。北海道大学法学部卒業。2011年に「劇団アトリエ」を結成し、2017年に「クラアク芸術堂」に組織変更。人間の暗部ややりきれない部分を書くことが多いが、コメディやナンセンス、ファンタジーなど作品のジャンルは多岐にわたる。2017年から平仮名名義「こさべあきひろ」としての執筆活動も開始。『瀧川結芽子』で若手演出家コンクール2015優秀賞。

クラアク芸術堂ホームページ

<http://www.clark-artcompany.com>